

学校だより 8月号



新宿小だより



＜学校教育目標＞「思いやりのある子 進んで考え学び合う子 健康でたくましい子」

＜夏休みの生活目標＞「学校ではできない経験をしよう」

〒355-0032 東松山市新宿町1-4 TEL 0493-23-1225 FAX 0493-23-1236 令和8年7月17日（金）

夏の成長を

校長 稲葉 昌弘

一学期も無事に終わり、本日通知表や宿題、授業で作成したものを持って帰ったと思います。子供たちは夏休みを「まっていた！」「という気持ちでいっぱい表情でした。それぞれにとって有意義な夏を過ごしてもらいたいです。これから迎える「夏休み」は1881年（明治14年）に当時の文部省が都道府県あてに出した小学校教則綱領で「夏季休業日」が定められ、「夏休み」として全国に広がりました。これは暑さで授業を受けることが困難であることや、農作業の繁忙期に子供が家の手伝いを行うためです。ちなみに、この時から学校からの宿題はあったようです。現代では農作業のお手伝いをする子供は少ないと思います。

我々小学校の教員がこの「夏休み」について思うことは、「夏休み明けの子供たちは、一回りも二回りも成長している。」です。これは子供の身体的な成長だけでなく、夏休みを経て「自立する力」が伸びるのだと思います。この休みは子供にとって「自立する力」を伸ばす絶好の期間です。そこで、次のような経験ができると、より子供たちが成長していくのではないかと考えます。

①「自分で決めて最後までやり切る経験」

宿題や習い事など、自分で目標を決め、最後までやり切ることです。ポイントは達成しやすい目標の設定です。宿題を例に上げるとしたら、「今週は1日〇ページずつ取組む」という設定をし、週末に「できた」「できなかった」の評価をしていくなど。目標設定を細分化したり、毎日のルーティーン化にしたりするとよいですね。大切なのは保護者の方と一緒に計画を立て、できたら褒め、うまくいかなくても怒らず、失敗したらどうすれば最後までやり切れるのかを振り返ることが大切です。

②「家庭での役割を持つ経験」

子供は夏休みでも、大人は仕事があります。そこで、子供も家族を支える一員としてお手伝いができるとういいますね。強制ではなく、お風呂掃除や洗濯ものをたたむなど、自分から進んでお手伝いをしてくれた時は、ぜひ「ありがとう」と言ってあげてください。

③「親から少し離れて挑戦する経験」

できたらですが日帰り・宿泊キャンプや自然体験など、親から離れて生活する機会があるとういいますね。しかし、安全が第一です。無理のない範囲で・・・

他にもいろいろあると思いますが、この夏休み中の成長が楽しみです。9月1日に子供たちの成長した姿に出会えることを楽しみにしています。

夏休み



安全で楽しい夏休みを・・・

- よい生活のリズムを。 ○ 出かける際には、「だれと・どこに・何をしに・何時に帰る」の確認を。
- 交通事故の防止を。 ○ 不審者による被害防止を。「い か の お す し」

※事故等が発生した場合は、すみやかに連絡をお願いします。

・東松山警察署 25-0110 ・東松山駅前交番 22-0336 ・新宿小学校 23-1225 ・東松山市役所 23-2221